

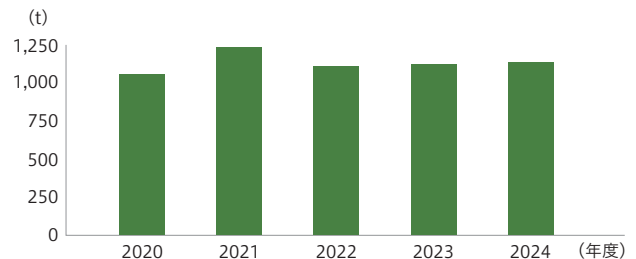
製造効率化による原材料および水使用量削減

3R 廃棄物削減

当社グループは、循環型社会の実現に向けて、3R（廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用）を基本に、発生抑制、再使用、再生利用、熱回収、適正処分の順に廃棄物の処理方法を検討しています。また、TNS活動と連携した継続的改善を中心に廃棄物削減に向けた取り組みを推進しています。

設計段階での取り組みとしては、製品の長寿命化、バイオプラスチックの利用等の環境に配慮した製品開発を行っています。

▼プラスチック廃棄物量の推移



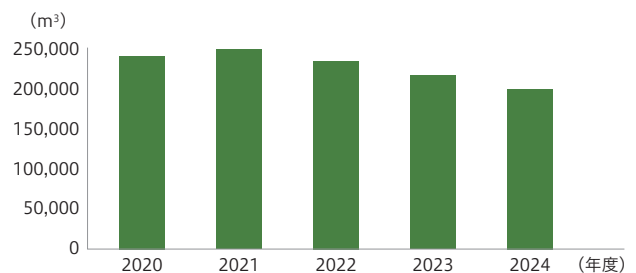
水リスクの把握と使用量削減への取り組み

当社グループの国内外生産拠点は取水制限地域にはありませんが、水資源は当社グループの生産活動や周辺住民にとって非常に重要です。当社グループは水資源の確保と排水の管理を重大なリスクとして認識し、生産活動での水使用量削減と排水の管理に注力しています。

当社グループ国内外生産拠点での全取水量の75%は、井水等の上水以外の水源から取得しており、製造段階でのユーティリティ設備の冷却水や緑地散水として使用しています。新規設備だけではなく、既存設備でもチラー（冷却水循環装置）を導入し、冷却水を循環させるとともに、必要最小限の水量に抑えることにより、水資源の効率的な利用を図っています。

周辺地域における水リスクの低減に貢献するため、当社グループでは新規設備の導入および既存設備へのチラー展開を継続し、今後も水資源の効率化を進めていきます。また、蒸気による保温設備の改善、冷却ロールへの展開等、水資源の有効活用に向けた施策を計画しています。工場管理チームのスタッフが各工場の現場視察や会議に参加し、国内関連工場にも排水削減の実績を展開することで、グループ全体での排水削減を推進しています。

▼製造工程における水使用量の推移



グリーン調達

化学物質対応

当社グループは、「グリーン調達管理規定」を制定し、国内法規制およびお客様のグリーン調達基準等に基づいて、調達する原材料や部品等の有害化学物質の使用抑制を目的とした管理を行っています。また欧州REACH規則、欧州RoHS指令の動向も視野に入れた管理を行っています。

●化学物質管理体制

環境保全責任者（化学物質管理責任者）の下で、化学物質管理体制を確立し、継続的な改善に取り組んでいます。

また、化学物質のリスクアセスメント規定に基づいて、原材料に使用されている化学物質のリスクアセスメントを行っています。リスクアセスメント実施者へ社内教育を実施し、評価方法および最新の国内法、海外規制等の改正情報を提供しています。

●有害化学物質削減、流出防止の取り組み

当社奈良工場では、環境負荷の低減を目的に、有害化学物質の削減と流出防止に向けた取り組みを推進しています。RoHS2指令の規制対象となった可塑剤については、規制物質を含有する製品だけでなく、同一設備で生産している非含有製品への混入を防止する等、法令への適正な対応を行っています。

また、発がん性が懸念される特定有機溶剤を含む接着剤は、非含有のものへ切り替え、作業環境の改善と有機溶剤の撤廃を図りました。さらに、暴風や浸水による毒劇物の流出を防ぐため、原材料や製品類は高所に保管し、シャッター扉には止水板を設置する等の対策を講じています。

今後も、有害化学物質による環境および人体への影響を最小限に抑えるため、継続的な改善と予防措置の強化に取り組んでいきます。